

福祉生活病院常任委員会資料

(令和 7 年 6 月 1 0 日)

【 件 名 】

- 点字ブロック点検に係る連携会議（第 2 回）の開催結果について
(福祉保健課)・・・2
- 認知症等の方々のための「スローショッピング」の実施について
(長寿社会課)・・・3

福 祉 保 健 部

点字ブロック点検に係る連携会議（第2回）の開催結果について

令和7年6月10日
福祉保健課

視覚障がい者の安全な歩行環境の確保を図るため、今後の対策を検討することを目的に設置した点字ブロック点検に係る連携会議（第2回）を5月28日に開催しましたので、その概要を報告します。

1 開催概要

- (1) 日 時 令和7年5月28日（水）午前10時30分から正午まで
- (2) 場 所 県立図書館大研修室
- (3) 出席者
 - ア 当事者・関係団体
公益社団法人鳥取県視覚障害者福祉協会、鳥取県見えにくい人を考える会、鳥取県視覚障がい者歩行訓練士会、鳥取県網膜色素変性症当事者の会、西日本旅客鉄道株式会社、鳥取商工会議所、国土交通省鳥取河川国道事務所
 - イ 市町村関係課
 - ウ 県関係部局
交通政策課、営繕課、障がい福祉課、住宅政策課、道路企画課、警察本部、福祉保健課（事務局）

2 会議の主な内容、意見等

- (1) 内容
第1回会議（令和6年11月）及び当事者団体との意見交換会（令和7年2月）でいただいた意見等を踏まえ、点字ブロック一斉点検の案について県より提案し、実施について了解が得られた。その他、点字ブロック相談窓口の受付方法の拡充策（とっとり電子申請サービスの活用）や点字ブロック整備に係る県のマニュアル修正の検討状況について説明した。
- (2) 主な意見
 - 一斉点検
 - ・点検にあたっては、まず国のガイドラインに従って見てもらえれば危険箇所がおのずと理解でき、新たに設置するときや補修するとき大いに参考になる。（鳥取県視覚障がい者歩行訓練士会）
 - ・点検の際に、行政職員が実際に白杖をついて歩いて、実際どこがどう危険なのかを実感してもらう経験をされるのも大事ではないか。（鳥取県視覚障害者福祉協会）
 - ・信号の押しボタンの前に点字ブロックが打たれていないことは不具合の1つだと感じる。修繕だけではなく必要ところに設置することも考えていただきたい。（鳥取県見えにくい人を考える会）
 - 普及啓発
 - ・この点検自体は非常に意味があると思うが、福祉教育として中学生と一緒にやることで点字ブロックへの意識が変わってくると思う。（鳥取県網膜色素変性症当事者の会）
 - 相談窓口
 - ・市民からの通報システムを作っており、通報があれば現地確認し補修等をしている。（米子市）
 - ・道路はカバーする延長が大きく、設置者が不具合を目視することは事実上難しいため、利用者からの通報窓口などをもっと充実してもらえたらありがたい。（鳥取県視覚障がい者歩行訓練士会）
 - その他
 - ・路面とのコントラストは重要だが、色あいを常に維持することは相当な負担となるため、それよりも音響信号機やエスコートゾーンを一つでも増やしてほしい。（鳥取県視覚障がい者歩行訓練士会）

3 今後の取組予定等

会議の意見を反映した点検チェックリストを作成し、次回の会議で一斉点検の具体的な方法を提示する。また、県の整備マニュアルへの意見の反映を庁内で検討していくこととした。

認知症等の方々のための「スローショッピング」の実施について

令和7年6月10日

長 寿 社 会 課

認知症等になっても暮らしやすいまちづくりを目指して、自分のペースでゆっくり買い物が楽しめる「スローショッピング」を東部と西部で初開催しましたので、その概要を報告します。

〔スローショッピング…認知機能に不安を感じている方（お会計時に時間がかかる方等）が誰かにせかされることなく、ゆっくりと気兼ねなく買い物が楽しめる体験〕

1 スローショッピングの概要

【東部：イオン株式会社と協働実施】

- (1) 日 時 令和7年5月21日（水） 午後2時から午後3時まで
- (2) 場 所 イオン鳥取北店（鳥取市晩稲348）
- (3) 参加者 認知症及び認知機能の低下がみられる4名の方（鳥取市の養護老人ホーム入居者）

【西部：株式会社マルイと協働実施】

- (1) 日 時 令和7年5月22日（木） 午後2時から午後3時まで
- (2) 場 所 マルイ車尾店（米子市車尾3丁目6-1）
- (3) 参加者 認知症及び認知機能の低下がみられる5名の方（米子市の軽費老人ホーム入居者）

（店内での対応）

- ・店内レジのうち1つにスローレジの貼り紙をつけ、聞き取りやすく、ゆっくりとした口調で対応した。
- ・参加者のゆっくりとした動作にあわせて接客し、他のお客様にせかされないように対応した。
- ・イオン鳥取北店では事前に購入予定商品のアンケートを実施し、その商品の陳列場所を表示した店内MAPを当日参加者に提供した。マルイ車尾店では、カートに店内MAPを備え付け、両店舗で商品を見つけやすいように工夫した。

◎主な意見

<参加者>

- ・商品が多く、買い物がとても楽しかった。
- ・買い物には毎日でも行きたい。また機会があれば、スローショッピングに参加したい。
- ・トイレの場所がわかりにくかった。わかりやすい案内表示がほしい。
- ・施設にいると同じ人とはか接しないが、買い物では普段見ない人とすれ違うことが刺激になった

<老人ホーム施設職員・包括支援センター職員・行政職員>

- ・店員とお客様の見分けがつきにくい。視覚で店員を識別しやすくする工夫（腕章等）があるとよい。
- ・参加者の視線は真直ぐか下であり上を見ない。上にある商品陳列表示は目につきにくい。店内MAPをイオン様が用意していただいたことがよかった。
- ・今回のようなスローショッピングの実施回数を増やし、どの日でも安心して買い物できるような店舗になればよい。施設入居者の外出の機会が増え、誰もが買い物しやすくなることにつながる。
- ・2か月に1回くらいであれば、入居者を送迎してのスローショッピングに参加可能である。
- ・継続・発展させていきたい取組である。

<店舗>

【イオン】

- ・トイレ、商品の陳列場所のわかりやすさ等、いただいた意見の改善に努めて参りたい。
- ・9時から18時までサポートレジ（補助を必要とする方が対象の食品優先レジ）を設けているので、活用し、買い物を楽しんでいただきたい。
- ・今回の開催の内容をもとに、施設や包括支援センターの御意見をいただき、定期開催をどのような形で実施していくのがよいか検討していきたい。

【マルイ】

- ・比較的、来客の少ない時間帯を設定したことで、スムーズに実施できたのではないかと。
- ・今回のように日時を決めて開催する方法であれば、定期開催が可能。月1回または月2回の開催が妥当。
- ・参加人数と時間帯を限定すれば、イートインスペースを買い物後の集いの場として提供可能である。
- ・行政、店舗及び支援団体（地域の支援者）の繋がりが必要である。行政の働きかけが必要と考える。地域の支援者がスローショッピングを広く認知し、皆で協力していくことで支援の輪が広がる。

2 今後の予定

これまでのスローショッピングの実施結果を踏まえてモデルスキームを設定し、関係者等の意見を伺いながら普及につながる体制づくりを進める。

スローショッピングの取組について広く店舗等と呼び掛け、誰もが買い物しやすい環境づくり、安心して暮らせるまちづくりを進めていく。